

次世代 I T S 検討会開催の趣旨

渋滞や事故、環境悪化等の道路交通問題の解決を図るため、情報通信技術を用いて人と道路と車両を一体のシステムとして構築する I T S（高度道路交通システム）の導入が進められている。国土交通省においては、これまで電子料金収受システム（E T C）や E T C 2. 0 を導入し、ビッグデータを用いた料金施策や運行管理支援の高度化を図ることで、渋滞・事故の低減に取り組むなど、I T S の社会実装に取り組んできた。

昨今、C A S E を始め、A I や D X 等、革新的技術の開発・普及が進んでいる。社会経済活動が成熟化・複雑化する中、I T S の取組についても、ターゲットを拡大し、アプローチ・手法の再設定を考える時期に来ている。

こうした状況を踏まえ、次世代 I T S では、革新的技術の活用、社会経済全体からのアプローチにより、交通課題の解決を超え、世界に裨益する新たな価値を創造するための施策・サービスを、道路行政視点、民間視点の双方から産学官の議論を通じて具体化し、その実現に必要なとなるシステムが具備すべき機能を整理し、コンセプトとしてとりまとめることを目的に、当検討会を設置するものとする。